

特別展

国立民族学博物館創設40周年記念
日本文化人類学会50周年記念

「イメージの力」

国立民族学博物館「コレクションにみる」人間の作り出したイメージの力に迫ります。とめられ方に、人類共通の普遍性があるのでしようか。

会期 12月9日(火)まで
会場 特別展示館

関連イベント

トークイベント「イメージの力」

音楽、デザイン、小説の各界で活躍するゲストがそれぞれのイメージの力に迫ります。(全3回)。第2回は、三木健さんです。

日時 10月19日(日)13時~14時30分
ゲスト 三木健(サイナー)
聞き手 吉田憲司(本館教授)
会場 本館ナビひろば
※申込不要、先着順、本館展示観覧券または特別展示観覧券

みんなくxナレッジキャピタル
「イメージの力」をさぐる。

大阪・梅田のナレッジキャピタルで特別展と連動した連続講座を開催します。(全6回)

時間 19時~20時30分
会場 グラフフロント大阪北館1F
ナレッジキャピタル The Labo Cafe Labo
※参加費500円(ドリンク代)、定員各回50名
主催 一般社団法人ナレッジキャピタル
国立民族学博物館

10月15日(水)
講師 池谷和信(本館教授)
話題 人類の美の追求

10月29日(水)
講師 山中由里子(本館准教授)
話題 描かれた時間

国立民族学博物館 特別展ツアー
10月26日(日)13時~14時30分
会場 特別展示館
案内 吉田憲司(本館教授)

お申込み・お問い合わせ
一般財団法人ナレッジキャピタル
電話 06・63772・65330

企画展

「未知なる大地」

グリーンランドの自然、そこに住むイヌイットの人びとの歴史と文化を紹介します。

会期 11月18日(火)まで
会場 本館企画展示場

関連イベント

ワークショップ

「グリーンランドの映像トウビラックを作ろう」
紙粘土と竹べらでトウビラックをつくりまわす。

日時 11月2日(日)
13時30分~16時30分(13時受付開始)
場所 本館第3セミナー室、企画展示場
講師 田主誠(版画家)、岸上伸啓(本館教授)
※要事前申込(先着順、参加費500円(別途要展示観覧券)、小学1年生以上対象、定員15名
お問い合わせ先
情報企画課 電話 06・6878・8532

「南アフリカの過去と現在」

ネルソン・マンデラから続く道
アバルト(ヘイト)の廃止後、進行する国内の都市化に注目し、持続可能な資源利用や生き方について考えます。

日時 10月11日(土)
10時40分~13時25分開場10時
14時15分~16時30分 講演会
会場 本館講堂(定員450名)
映画会 上映作品「遠い夜明け」
※申込不要、映画会は要展示観覧券

国際シンポジウム

「言語の記述・記録・保存と通モード言語」
類型論
手話言語と音声言語を同時に観察することで、言語学における基礎的な概念を再検討します。

日時 10月4日(土)9時45分~17時
10月5日(日)9時~12時30分
会場 本館講堂
※要事前申込、参加無料、英語・日本語・アメリカ手話・日本語同時通訳及び英語同時要約筆記あり

お問い合わせ先
菊澤研究室 SSI@minpaku.ac.jp

研究公演

「りんけんバンドみんなく公演」

沖縄の新しい音楽をうみだしているりんけんバンドと小学生の演舞がコラボレーションしたステージです。

日時 11月1日(土)13時~15時30分
(開場12時30分)
会場 本館講堂(定員450名)
申込締切 10月14日(火)
※要事前申込、要展示観覧券

みんなくワールドシネマ

「海と大陸」

アフリカの不法移民をかくまうイタリアの島の一家の苦闘を通して、移民問題について考えます。

日時 11月9日(日)13時30分~16時
(開場13時)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、先着順、要展示観覧券
※当日11時30分から展示場ミニレクチャーあり。

公開講演会

「無形文化遺産 選ぶ視点 選ばれる現実」
ユネスコ無形文化遺産として和食が認定されるなど、いま注目されている無形文化遺産の過去・現在・未来について紹介します。

日時 11月4日(火)18時30分~20時40分
会場 日経ホール(東京、定員600名)
主催 日本経済新聞社
※要事前申込、参加無料
お問い合わせ先
研究協力係 06・6878・8209

みんなく創設40周年記念 カレシジシアター
「みんなく地球探検紀行」
10月からプログラムをさらに充実、参加しやすいスタイルで後期講座がスタートします。

時間 13時~14時30分
会場 あべのハルカス近鉄本館「スペース9」
主催 産経新聞社
特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団
※要事前申込(申込締切は各回開催日の1週間前)、参加費 各回1000円

10月8日(水)
講師 岸上伸啓(本館教授)
話題 気候変動は何をもたらしたか
——世界最大の島グリーンランド

10月15日(水)
講師 八村佳穂(本館教授)
話題 古代マヤのことはを探る

10月22日(水)
講師 池谷和信(本館教授)
話題 人間は何を食べてきたか
——アフリカの食から学ぶ

お申込み・お問い合わせ
ウエブ産経カレシジシアター係
電話 06・6633・9087

みんなくセミナー

時間 13時30分~15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は観覧料が必要です)

第437回 10月18日(土)

企画展関連

「企画展関連」はるかなる北の大地、グリーンランドの自然と人びとの暮らし
講師 岸上伸啓(本館教授)



大西洋の北西部にあるグリーンランドは、世界最大の島です。総面積は日本の約6倍ですが、その80%は厚い氷床に覆われています。そこには約5万7000人のイヌイット人やデンマーク人がくらんでいます。グリーンランドの大自然の姿、そこに住む人びとの歴史と現状について紹介します。

みんなくワークショップ・サロン
研究者(話者)

会場 本館ナビひろば
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します。「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。

10月5日(日) 14時30分~15時30分

話者 三尾稔(本館准教授)
話題 ヒンドゥー教世界の神々のイメージ

10月19日(日) 14時45分~15時45分

話者 林敷男(本館准教授)
話題 死者を送る——ニューギニアの彫刻と儀式

10月26日(日) 15時~16時
話者 齋藤玲子(本館助教)
話題 消費されるイメージ

——観光みやげか博物館資料か

●展示ガイド更新のお知らせ

2014年3月に新しくなった東アジア展示の展示ガイド更新版が完成しました。展示ガイド(バインター形式)をお持ちの方には、無料で差し替え分をお渡しいたします。ミュージアム・ショップにお申し出ください。

●南アジア・東南アジア展示リニューアルのお知らせ
展示リニューアル工事のため、南アジア・東南アジア展示場が11月5日(水)から3月18日(水)まで閉鎖されます。閉鎖前は是非ご来館ください。

●11月1日から7日は「教育・文化週間」です

教育・文化週間は教育や文化への関心と理解を深め、充実・振興を図ることを目的として設けられ、今年で56回目を迎えます。この機会に、全国で開催される様々な行事に足を運んでみてはいかがでしょうか。
教育・文化週間ウェブサイト(文部科学省)
http://www.next.go.jp/a_menu/shougai/kyoiku-bunka/

■吉田憲司 著
『宗教の始原を求めて——南部アフリカ聖霊教会の人びと』

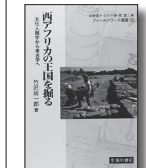
岩波書店 3,100円(税抜)
1990年代、聖霊憑依するキリスト教(聖霊教会)へ入信する人びとが爆発的に増加し、南部アフリカ一帯に広がった。それによる伝統的な文化の危機的な状況に、著者は南部アフリカ全域を踏破し、その広がりや追跡しはじめる。本書は、20年の探究調査で見えてきた、宗教の根源=新たな信仰の成立過程を追った知的ルポルタージュである。



刊行物紹介

■竹沢尚一郎 著
『西アフリカの王国を掘る——文化人類学から考古学へ(フィールドワーク選書10)』
臨川書店 2,000円(税抜)

サバンナの大地に眠る未知の歴史を掘り起こす。過去にいくつもの王国が生まれながら、文書史料に乏しく、未発掘の地が多く残るマリ。アフリカの過去を知りたい、その一念で専門外であった発掘に乗り出した著者は多くの新発見に恵まれることとなる。そしてついに、西アフリカ初となる「中世」の王国を掘り起こす。



友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員証提示)
第437回 12月6日(土)14時~15時

ナラ林文化を再考する

講師 佐々木史郎(本館教授)
佐々木高明元民博館長が想定した、日本文化の北のルーツ「ナラ林文化」。該当地域の生態環境や歴史の変遷をふまえ、「ナラ林文化」という文化領域設定の可能性を改めて検討します。

◇11月の第一土曜日は、「りんけんバンドみんなく公演」にご参加ください。
会員の方は、事前に友の会事務局までお申し込みください。(締切:10月14日(火))

東京講演会

会場 モンハル渋谷店5Fサロン
定員 60名(要事前申込)
※一般の方も参加可能です(参加費500円)
第110回 10月19日(日)14時~15時

多みんぞくの街・新大久保とハラールフード産業

講師 菅瀬晶子(本館助教)
日本有数の多みんぞくの街、東京都新宿区の新大久保。本講演では、新大久保が多みんぞくの街となった歴史を振り返るとともに、近年もっとも活気のある「イスラム通り」に注目します。当日は、ハラールフードのサンプルも実際に手にとっていただきます。

第69回体験セミナー

「織り」からたどる手仕事の現場(国内編)
11月20日(木)~21日(金)
訪問先: 桐生市、高崎市、中之条町(群馬県)

第85回民族学研修の旅

「織り」からたどる手仕事の現場(海外編)
2015年2月1日(日)~2月9日(月)
訪問先: カンボジア、東北タイ

※国立民族学博物館ミュージアム・ショップの記事は、表紙うらに移りました。